

政策対話（産業労働部）の概要

1 テーマ

信州リゾートテレワークの推進について～信州が提供する質の高い時間～

2 実施概要

(1) 日 時

令和3年9月16日（木）14時から16時

(2) 場 所（実施手法）

長野県庁（ZOOMによるオンライン開催）

(3) 参加者（視聴者）

41名（リゾートテレワークの推進にかかわる一般県民、おためしナガノ※参加者、市町村リゾートテレワーク業務担当者、地域リゾートテレワークコーディネーター事業者など）

県側：林産業政策監兼産業労働部長、室賀産業立地・IT振興課長、産業立地・IT振興課職員

3 対話での意見（概要）

| 区 分 | 意 見 | 意見に対する県の考え方 | 令和4年度予算への反映 |
|-----------------------------------|---|--|--|
| 広域連携でのワーケーションを実現し、参加者を呼込むには何が必要か？ | <ul style="list-style-type: none">各施設がばらばらであったり、単独で進めていくのではなく、まとめて情報発信をすれば、より相乗効果が生まれるのではないかと。連携には各地域にコーディネーターが必要地域には、様々な強みがあると思う。長野県内でテレワークをして地域と連携するに当たり、このテーマでコーディネートしてもらいたいならこういう人がいるということが分かりやすくなっていると連携がしやすい。 | <p>【情報発信について】</p> <ul style="list-style-type: none">県としても統一的な広報や各市町村などの情報を掲載した信州リゾートテレワーク HP により実施しているところ。引き続き、効果的な情報発信方法を検討しつつ実施してまいります。 <p>【コーディネーターなどによる各地域の連携について】</p> <ul style="list-style-type: none">ワーケーション自治体協議会参加市町村及びワーケーションコーディネーター団体で構成する「信州リゾートテレワーク推進チーム」の勉強会等の活動を通じて各団体間の連携を強化することで対応してまいります。 | <p>『リゾートテレワーク推進事業』 【10,760千円】</p> <ul style="list-style-type: none">ホームページ等による情報発信ワークスペースや受入市町村・団体、各施設の設備情報などをホームページ等により発信し県全域の受入環境の底上げを支援してまいります。 |

| | | | |
|--|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク施設を持つというのも大切だが、Wi-Fi 環境などの通信環境も一定の水準で整えていかなければならないのかなと感じる。 | <p>【通信環境の整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは県下各施設の現状把握から進めていければと思います。 ・いずれも、令和 4 年度当初予算での予算要求を検討いたします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・信州リゾートテレワーク推進チームの運営 課題共有・解決、地域間連携による受入検討を行う場を設定してまいります。 |
| <p>リゾートテレワークを入口として事業や雇用を創出するにはどのような支援が必要か？</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ある市町村を訪れた際に、何か一緒にできないかと地元の企業を紹介してくれた。そういったことがあると一歩踏み出しやすいと思う。 ・首都圏などで地域に関わりたい、複業したい人はいると思う。地域の事業者を受け入れてもらえるように必要性を理解してもらい、地域の事業者と複業希望者をマッチングして、伴走支援までできれば良いと思う。 ・まず企業がテレワークをしやすい環境を作っていくというのが 1 つの考え方になると思う。 | <p>【リゾートテレワーク実施者や都市部人材と地域企業とのマッチングについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信州リゾートテレワーク推進チーム」の勉強会やネットワークなどを活用した情報・意見交換を通じて、先行地域の優良事例や対応方法を、他地域へと横展開することを目指してまいります。 <p>【テレワークしやすい環境の整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信環境については、まずは県下各施設の現状把握から進めていければと思います。 また、企業のテレワーク機運の醸成については、国への要望を継続してまいります。 ・いずれも、令和 4 年度当初予算での予算要求を検討いたします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏企業等に向けた PR 企業への訴求力の高いメディアや SNS を活用した情報発信をする とともに、ワークスペースの通信・設備環境の現状調査を実施し標準的な規格を検討してまいります。 |

※おためしナガノとは、ITを中心としたクリエイティブ人材の方々に、長野県に「おためし」で住んで、仕事をしていただく機会を提供している事業です。県は、参加者のオフィス（コワーキングスペース）利用料や引越し代、交通費等を支援しています。